第８号議案

第７３回　日本学校農業クラブ全国大会

令和４年度　北陸大会における

クラブ員代表者会議の発表テーマについて

|  |  |
| --- | --- |
| 第１分科会 |  |
| 第２分科会 |  |
| 第３分科会 |  |

単位クラブまたは連盟運営（日連・ブロック連盟・県連盟）に関する問題

第１分科会：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

第２分科会：内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）

第３分科会：農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関すること

単位クラブまたは連盟運営（日連・ブロック連盟・県連盟）に関する問題

**第１分科会：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）**

北北海道連盟

・単位クラブがコロナ禍の中で行える農業の情報発信方法はどのようなことがあるか。

岩手県連盟

・地域や企業と連携した農業クラブ活動はどのようなものがあるか。

・地域産業の振興を活性化させるために、農業クラブ員ができる取り組みは何か。

・農業クラブ員の活動を外部へ働きかけるにはどのような方法があるか。

・地域に根ざしたプロジェクト活動をするためには、どのように取り組めばよいか。

・世界を見据えた農産物販売ルートの拡大のためには、どのように取り組めばよいか。

・農業クラブとして、地域の為にできる事はどのようなものがあるか。

・クラブ員の減少を防ぐための取り組みにはどのようなものがあるか。

・地域の方々へ農業高校をさらにアピールするにはどのような方法が考えられるか。

宮城県連盟

・他ブロックの活動を知るためには、どのような交流方法があるか。

山形県連盟

・中学生から魅力的に映る農業高校にするためには、どのような取り組みがあるだろうか。

栃木県連盟

・農業クラブの活動を地域に広めるにはどのようにしたらよいか。

群馬県連盟

・農業高校の活動を地域の活性化にどう活用できるか。

・HPを有効利用した農業クラブ活動の効果的発信についてどのような方法があるか。

・各校の農業に関するイベントを地域の活性化にどう活用していけるか。

・インターネットを活用して海外の学生との交流を図るための方法を考える。

・海外での農業に関する情報と、日本の農業に関する情報を共有するにはどうすればよいか。

・海外の農業高校と農業について伝え合い、共有するためにはどんな方法があるか。

・地域の方と協力して、農業・農業高校の魅力を伝えるためにはどのような活動方法があるか。

・各学校で取り組んでいる、農業に関する活動を効果的に発信する方法はあるか。

・地域連携事業は、数多く取り組んでいるため、さらに充実させるための方法はあるか。

埼玉県連盟

・地域の方に農業高校の取り組みを深く知ってもらう取り組み。

・入学希望者が入学する前から農業クラブのことをより知ってもらうために必要なことは。

千葉県連盟

・農業高校の活動内容を多くの方に知ってもらうためには、どうすればよいか。

・農業高校の魅力を地域の方に伝えていくために「産・官・学・民」との連携をどうすべきか。

・農業クラブ活動をもっと知ってもらい、高い評価を得るためにはどのような活動が必要か。

・農業関係高校や農業クラブ活動について、地域の方々に理解してもらうには、どのような方法があるか。

・農業高校の活動内容を、もっと多くの人に知ってもらうためには、どうすれば良いか。

・農業高校の魅力を地域の人に伝えていくために、「産・官・学」とどのように連携して活動してくべきか。

・クラブ員が考える理想の地域農業。

・クラブ員が出来る若手就農者への支援は何が出来るか。

・農業高校以外の産業高校との交流方法。

静岡県連盟

・農業高校での取り組みや農業クラブの活動内容を地域の人に知ってもらうにはどうすればよいか。

・地域の農家との関りを増やし、農業の魅力を広めるためにはどうすればよいか。

・地域内で交流が可能な団体が少なく、単位クラブから依頼が難しい場合がある。

新潟県連盟

・農業高校の農産物などを地域にＰＲするためにはどうすれば良いか。

・農業クラブ員が地域の課題を地域の方と解決するにはどのような取り組みをすればよいか。

長野県連盟

・マスコミに農業クラブ活動を紹介してもらうためには、どのような対応をすればいいか。

・地域との連携をより深いものにするためには、どのような活動ができるか。

愛知県連盟

・クラブ員一人ひとりが、地域の方々に普段から発信すべきことは何か。

・農業クラブ活動を、地域の活性化につなげるためには、どのような取り組みがあるか。

・農業クラブ活動を通して、人と人とのつながりを広めるためには、どのような取り組みがあるか。

岐阜県連盟

・農業高校の生産物を校外でＰＲし、地域農業を活性化するためには、どのような取り組みがあるか。

・農業を行っていない人に対して、農業の魅力をどのように発信していけば良いか。

・農業高校の取り組みについて知ってもらうために、どのようにメディアを活用したらよいか。

三重県連盟

・地域の方々へ農業高校が日頃、取り組んでいることを知ってもらうために、地域のなかでできる活動はなにか。

・国連家族農業の魅力について、小中学生を含めたすべての世代、地球に発信する方法はなにか。

・各校だけのブランド化だけではなく、県内のもので何ができるかを県連単位で検討してはどうか。

兵庫県連盟

・農業関係高校の取り組みや農業クラブ活動の中で、特に多くの人に知ってもらうべき活動は何か。

・農業関係高校の取り組みや農業クラブ活動について、地域だけでなく各都道府県単位で多くの人に知ってもらうにはどのような活動があるか。

・グローバル化の下で、地域農業に持続的に貢献するためにはどうすればよいか。

・各校の特色を活かし、地域に貢献できる連携・交流をおこなうためにどうすればよいか。

鳥取県連盟

・感染症などが流行したときにどのように郊外へ発信・連携していけばよいか。

広島県連盟

・農業クラブの活動を外へ発信するためにクラブ員ができることは何か。

・生きていくために必要な農業の大切さを地域の中で伝えていくには。

・農業クラブの各種大会や取り組みをたくさんの人に知ってもらうためにはどうすればよいか。

山口県連盟

・地域の農業生産者の方々が気軽に足を運べるような学校にするにはどうすればよいか。

福岡県連盟

・農業クラブの活動が地域と連携した取り組みの中で情報を発信していくにはどのような方法があるか。

・農業クラブの魅力を世界に向けて広めるためにできることはなにか。

・農業クラブと地域がともに活性化していける方法はなにか。

佐賀県連盟

・農業クラブを、地域に発信するためには、どのような活動を行うべきか。

・農業を活性化させるためには、地域とどのように連携するとよいか。

・周囲の人に農業クラブの活動を知ってもらうにはどのような活動が必要か。

・農業に対するマイナスイメージをなくすために、地域や全国に対してどう活動していくか。

長崎県連盟

・農家や企業での実習を授業として取り入れるためにはどのような方法があるか。

・インターンシップにより、実践的な取り組みに触れ、今以上に進路への参考とするためにはどうしたらよいか。

・農業クラブの魅力や取り組みを、効果的に地域の方々に知ってもらうためにはどうしたらよいか。

・農業関係高校の農業クラブ活動を、地域の小中学生に広めるためにはどのようにしたらよいか。

・新しい情報発信方法で農業クラブ活動を宣伝し広げるためにはどのような方法があるか。

熊本県連盟

・地域の方々との交流を図るにはどのような活動があるか。

・海外の人たちとの交流を図るにはどのような方法があるか。

・農業クラブ活動をとおして地域産業に貢献できることは何か。

宮崎県連盟

・入学者数が減少傾向にある中で、どのように学校をPRし、入学者を確保するか。（PR方法）

・コロナ禍にあり、地域や海外とのつながりを持つ効果的な方法にはどのようなものがあるか。

・オンラインでの全国の農業クラブ員との交流を持つにはどのような方法があるか。

**第２分科会：内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）**

北北海道連盟

・行事の縮小や中止などがある中で、どのように農業クラブ員の農ク活動への関心を高めて意欲的に活動　　に参加してもらうために何ができるか。

岩手県連盟

・総合学科で農業クラブ活動を進めるにはどのような方法があるか。

・学校独自の行事を農業と結びつけ活動する方法にはどのようなものがあるか。

・クラブ員の行動力につながる取り組みは、どのようなものがあるか。

・クラブ員の意欲向上につながり、クラブ員全員が楽しめる活動にはどのようなものがあるか。

・クラブ員の農業クラブ行事への参加意識を高めるためには、どのような行事が考えられるか。

宮城県連盟

・役員とクラブ員の農業クラブへの意識の差をなくし、農業クラブを活性化させるためには、どうすればよいか。

栃木県連盟

・県連盟以外の農業クラブ役員と交流を深めるためにはどのような方法や機会があるだろうか。

群馬県連盟

・農業クラブ員として、１人ひとりが自覚できるためにはどのような活動をするべきか。

・県内の農業クラブ員たちとの交流を、より活性化させるためにはどのようなことができるだろう。

・各学校の農業クラブ員全員が同一の問題意識を持って、その課題解決に取り組むためにはどのような方法があるか。

・各学校の農業クラブ員全員が問題に対して取り組もうとする姿勢を醸成するためにはどのような方策があるか。

・少子高齢化が進む今、将来に農業クラブ員を増やしていくにはどうしたらよいか。

・農業高校が注目されるなかで、各校のクラブ員一人ひとりがクラブ員だという自覚を持たせるための方法があるか。

埼玉県連盟

・コロナ禍におけるクラブ員の交流にはどのような方法があるか。

千葉県連盟

・クラブ員に、クラブ員であることを自覚させ、高い意識を持たせるためには、どのような活動が必要であるか。

・クラブ員が興味を持ち、活動したいと思ってもらうためには、農業クラブをどのように変えていく必要があるか。

・農業クラブ活動活性化のために、全国統一の基準（県大会、ブロック大会を含む）を作成するためには、クラブ員としてどのような働きかけができるか。

・農業クラブ活動がより活性化するには校内でどのような活動を行っていくのが良いか。

・農業クラブ員が農業クラブ活動に興味を持ち、高い意識を持って活動するためには何が必要か。

・農業クラブ員がクラブ員であることを自覚させるためには、どうすれば良いか。

・農業クラブ活動を充実させるために農業クラブ役員ができること。

・農業クラブ活動を校内に向けて発信する方法。

静岡県連盟

・地域の人々に愛される農業クラブになるために、一人一人の意識をどう変えていけばよいか。

・活動の取り組みについては全体に周知しているが、積極性に欠けている部分を改善するにはどうしたらよ

いか。

新潟県連盟

・農業に関する行事を魅力的にするにはどのようにすれば良いか。

・農業クラブ員が日ごろから意識的に活動に取り組み、充実した農業クラブ活動を送るにはどのように

　したらよいか。

長野県連盟

・農業クラブ活動と、他教科の学習を両立するためにはどのようにすればよいか。

愛知県連盟

・単位クラブの活性化を図るために、クラブ員一人ひとりが意識をもって活動するにはどのような取組が必要か。

・クラブ員同士が協力し合い、意欲的に活動できる取組を行うにはどうしたらよいか。

・農業クラブ員としての自覚を高めるため、県内だけでなく県外の農業高校と連携してできることは何か。

岐阜県連盟

・どのようなアプローチをしていけば、クラブ員全員で共通認識を図ることができるのか。

・クラブ員一人一人が、農業クラブの活動を活性化できる新しい取り組みはないか。

三重県連盟

・農業クラブ員が積極的に活動できるよう農業クラブ役員ができる呼びかけや校内での活動はないか。

・農業クラブの一員として環境への意識を持ち、これからの農業に必要なＳＤＧｓについての認知を深めるにはどうすれば良いか。

兵庫県連盟

・農業クラブ員としての意欲的な活動として具体的にどのようなものがあり、どうすればそれを広めることができるのか。

・農業クラブ員としての活動の中で、特にやりがいのある活動と、それをクラブ員に体験してもらうためにはどのような働きかけが必要か。

・農業クラブ員が主体的に取り組む農業クラブ活動にするためにはどうすればよいか。

・農業クラブの活性化のために、クラブ員の意識を高めるためにはどうすればよいか。

鳥取県連盟

・農業クラブ執行部員の後継者をどのように育てていくか。

・農業クラブ活動と勉強や部活動とのバランスをどのように取っていくか。

広島県連盟

・クラブ員一人一人が，クラブ員として活動していると感じるような取組として，何ができるか。

・県大会・全国大会での入賞を目標に持って取り組んでいくためには。

・生徒一人ひとりに農業クラブ員としての自覚をもたせ、様々な大会や研修に積極的に参加するようになるにはどうしたらよいか。

山口県連盟

・農業クラブ員としての意識を高めるため、プロジェクト活動でどのようなことを取り組んでほしいか。

福岡県連盟

・自然災害や新型コロナウイルスなどの影響を受け、私たち農業クラブ員が同一の問題意識を持ち、その課題解決に向けて取り組むためには具体的にどのような方法があるか。

・農業クラブ員がもっと積極的に活動できる環境をつくるにはどのような方法があるか。

・農業クラブ活動の楽しみを広げるにはどのような方法があるか。

佐賀県連盟

・クラブ員として自覚を持つためにどう働きかけるか。

・クラブ員に自覚を持ってもらい、農クの輪を広げるためにはどうしたらよいか。

・どのように取り組みをすれば役員１人１人が農業クラブ役員としての自覚を持つことができるか。

・クラブ員が自発的に農業クラブの活動に参加するためにはどうしたらよいか。

長崎県連盟

・農業高校同士での交流し、互いの授業内容や実習内容の活性化に繋げるために必要なことはなにか。

・全国大会での好成績を目指して、県連盟として取り組める活動がないか。

・農業クラブ活動に、クラブ員全体が意欲的に活動するためにはどのようにしたらよいか。

・長期的にメディアから取り上げられるような農業クラブ活動を実践するためにはどうしたらよいか。

熊本県連盟

・農業クラブ員の人数を増やし、活動内容活性化を図るにはどうしたらよいか。

・農業クラブ活動を一般の方々に知ってもらうにはどのような取り組みがあるか。

・農業クラブの各種競技会に対する意識の向上を図るにはどのような方法があるか。

・society５．０に向けた農業クラブ活動はどのようなことができるか。

・クラブ員としての自覚を持つためにはどのような方法があるか。

宮崎県連盟

・クラブ員が「科学性」「指導性」「社会性」を意識し、魅力的な活動を行うためには、どのようなことが考えられるか。

・農業クラブ役員だけでなく、学校の全クラブ員が自覚を持って取り組める活動のしかけにはどのようなものがあるか。

**第３分科会：農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関すること**

北北海道連盟

・新しい生活様式に合わせた農業クラブ活動を模索して農業の魅力を伝える術を探り、地域の担い手を増やすためには何ができるか。

岩手県連盟

・未来の農業を担うクラブ員が農業クラブ活動をとおして農業の魅力を発信する方法とはなにか。

・農業を支える人材が育つような取り組みは、どのようなものがあるか。（農家だけでなく幅広く農業という分野で活躍する人材を目標として）

・農業以外の分野での「農業クラブ」の認知度の改善につながる取組はどのようなものがあるか。

・農業の可能性を広げるような農業以外の分野との連携にはどのようなものがあるか。

・農業を体験し、素晴らしさをアピールするには、今後どのような活動を行うことがよいか。

・農業クラブにおけるＳＤＧｓへの取り組みほどのようにしていけばよいか。

宮城県連盟

・農業被害を受けないための対策や農業高校生にできることはなにか。

栃木県連盟

・農業クラブでの学びを活かし、将来も農業に関わろうとする人を増やすにはどのようにしたらよいか。

群馬県連盟

・新規就農者が少ない現状を改善する方法を農業クラブ活動で関われることがあるか。

・AI技術が台頭してくる昨今、農業において自動化される仕事と、そうではない仕事を考え、これからの農業を担う人材が必要とされるスキルについて考える。

・日本の農作物に付加価値をつけるには、どのようなことができるか考える。

・海外の農業クラブ員とともに活動していくためにはどのようなことができるか考える。

・農業の生産現場の自動化、機械化の進化がすすんでいるが、その変化に学校はどう変わればよいか。

・農業が人手不足の中で、農業に就く人を増やすために若い人にどのように農業の魅力を発信するか。

・女性も農業のしやすい環境を作るためにはどうすればよいか。

・災害で被害に遭った農家の復興、また災害への対策を農家の方へ伝えるならどのような内容があるか。

・現在の農業の情勢にあわせた農業の勉強するための方法。

・小さな子供や若者対象の農業体験イベントを開催し、農業との関わりを深くしてもらう。

・地域の使われていない畑を農業高校が関わりを持ち、どう農業の活性化につなげられる方法はあるか。

埼玉県連盟

・農業クラブ活動を通じて農業の担い手を増やす。

千葉県連盟

・日本の農業を守っていくために、クラブ員としてどのようなことを学んでいく必要があるか。

・日本の農業を守る人材を輩出していくためには、農業クラブ活動をどう変えていくか必要があるか。

・クラブ員が地域とともに創る地域の未来像を考える。

・農業高校存続のためにクラブ員が出来ることは。

静岡県連盟

・クラブ員が未来の農業を豊かにするために、どのような活動をしていくべきか。

・高校生が理解しやすい、「新規就農ビジネスプラン」を考えてはどうか。

・農業生産に関わる費用の具体的金額と、資金の運用方法をわかりやすくするにはどうしたらよいか。

新潟県連盟

・農業クラブ活動をとして、ＳＤＧsを実現するためには何をすれば良いか。

・農業経営の２極化が進む昨今、ＩＣＴ技術やスマート農業を活用し、どのように農業クラブ活動に取

　り入れていくか。

長野県連盟

・日本の農業を活性化させるために、私達クラブ員はどのような活動ができるか。

・日本の食料自給率の低下を防ぐために、私達クラブ員はどのような活動ができるか。

愛知県連盟

・未来の農業を活性化させるために、私たちが農業クラブ活動を通し、学んでいかなければならないことは何か。

岐阜県連盟

・近年の異常気象などの環境変化に対応した農業を、私たちは今後どのように展開していく必要があるか。

・農業の良さ、面白さを知らない人が多く、やりたい人が少ない。農業従事者の減少という課題を解決するために、私たちクラブ員ができることは何か。

・将来、日本の農業を支えていく人材を育てていくには、どうしたらよいか。

三重県連盟

・地域の子どもたちに農業クラブとして、農業の楽しさや魅力を伝える手段は何か。

・持続可能な社会に向けて、農業クラブ員が主体となって幅広い世代にＳＤＧｓとそれに向けた活動を広めるためにはどうすれば良いか。

・農業空き地バンクを作るにはどうしたらよいか。

・新規就農のために農業クラブと農業大学校が組んだ就農支援策を検討するためにはどうしたらよいか。

兵庫県連盟

・持続可能な農業を日本で行っていくために、農業クラブ員が関われることは何か。

・就農や農業を営むことにつながる農業クラブ活動にはどのような活動があるか。

・地球の温暖化や災害に対応した持続可能な農業を招くために私たちにできることはなにか。

・自然災害が多い日本で、農業クラブが被災地や被災地の農業に対してできることはなにか。

鳥取県連盟

・スマート農業などの新しい農業のスタイルと農業クラブの活動をどのように融合していくことができるか。広島県連盟

・１年先の農業クラブ活動の在り方を考えて，今のクラブ員にできることは何か。

・農業従事者の高齢化と，担い手不足の問題に農業クラブ員としてどう取り組むか。

・農村部における農業について、農業クラブ員として出来ることはなにか。

山口県連盟

・身近な地域の農業従事者が抱える農業の課題と解決策について検討してはどうか。

福岡県連盟

・農業従事者の高齢化が進む中で新規就農者を増やしたり、農業関連産業への興味関心を持つ若者を増やしたりするためには、農業クラブの活動としてどのような取り組みがある。

・日本の農業を発展させるためにクラブ員ができることはなにか。

・スマート農業に対応したクラブ員を育成するための活動はどのようなものがあるか。

・感染症の流行や自然災害が多発する中でクラブ員が地域・農家に向けて活動できることはなにか。

佐賀県連盟

・若い人に農業のやりがいや可能性を伝えるためにはどうすべきか。

・どうやって子どもに農業の魅力を伝えるか。

・日本の食料自給率を上げるため、就農者を増やすにはどうしたらよいか。

・農業クラブの活動を通して、新規就農者を増やすためにはどうしたらよいか。

長崎県連盟

・子供たちに関心を持ってもらうため、一緒に農作業などを行ない興味を持ってもらう活動を行うためにはどのような方法があるか。

・地域の農業を守っていく人材を育てるために、クラブ員としてどのような活動を行ったらよいか。

・新しい農業の考え方や実践力を身につけた新規就農者を増やすためにはどのようにしたらよいか。

・品質向上や付加価値をつけて販売する「もうかる農業」を実現させるために必要な力を養うためにはどうしたらよいか

熊本県連盟

・学校農業クラブ員と農業従事者との交流活動を検討してはどうか。

・農地利用率の向上を図るにはどのような手段があるか。

・農業従事者の高齢化対策としてどのようなことができるか。

・農業後継者不足を防ぐためにどのようなことができるか。

・society５．０に向けた農業後継者・従事者の育成に関した農業クラブ活動はどのようなことができるか。

・担い手を育成する手段にはどのような方法があるか。

・耕作放棄地の活用法について検討してはどうか。

・研究活動をとおして、地域交流の機会および地域貢献へと繋げる取り組みはどのような方法があるか。

宮崎県連盟

・スマート農業を活用した学校農場での取り組みは、生徒にとってどのような効果があるか。

・新型コロナウイルスの影響を受け、農業高校の取り組みが地域に発信出来ないことや、農業クラブ役

　員同士の交流も出来ない状況で、各連盟が協力し合うことが大切だと考える。SNS等を活用し、県連

　盟、ブロック単位、全国規模で農業クラブ員同士が情報を共有するシステムを構築し、農業クラブ活動

　をさらに、充実した活動の場にすることは出来ないか。